

報道機関各位

県内大学生に青森の魅力を伝える「YES! AOMORIワークショップ」を開催します

県では、若者の県内定着・還流に向け、若者と、若者の将来選択に大きな影響を与える保護者世代をターゲットに、青森の過去と現在の違いや青森の価値・魅力を発信し「青森は良い方向に変わってきている」ことへの理解を促進していく取組を「YES! AOMORI」をキャッチフレーズに実施しています。

この取組の一環として、県内大学生を対象に、県内社会人との交流を通じて、青森の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらい、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらうことなどを目的として、下記のとおりワークショップを開催します。

つきましては、当日の取材について、よろしくお取り計らい願います。

記

- 1 日時 令和3年12月7日(火) 14:20～17:30
- 2 場所 弘前大学 弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールA・B
(〒036-8560 弘前市文京町1)
- 3 プログラム 別紙のとおり
- 4 参加者 弘前大学学生
- 5 その他 会場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手指の消毒等へのご協力をお願いします。

報道機関用提供資料(連絡先)	
担当課・ 担当者名	企画政策部 企画調整課 基本計画推進グループ 県民みんなが考える「いいよね青森」推進事業担当 主幹 工藤 倫子
電話番号	内線 2304
	直通 017-734-9131
報道監	企画政策部次長 富谷 正行

YES! AOMORI ワークショップ 2021 (弘前大学) 実施概要

1 目的

若者の県内定着・還流に向け、県内社会人との交流を通じて、学生に地域の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらうとともに、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらう。

2 日時 令和3年12月7日(火) 14:20~17:30 (途中休憩含む)

3 対象 20名程度(3~4名×6グループ)

4 会場 弘前大学 弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールA・B

5 プログラム

(1) 全体説明

<講義>青森県の課題(人口減少克服)と「YES! AOMORI」<15分>

- ・ワークショップの趣旨や進め方、タイムスケジュールなどの全体説明
- ・県の最重要課題である「人口減少克服」、若者の県内定着・還流に向けた県の取組紹介
- ・「YES! AOMORI」取組の背景や取組内容の紹介

(2) 社会人トーク<50分> ※質疑応答含む

仕事やプライベートで様々な経験をしてきた先輩社会人(関東圏からUターンし様々な職歴を経て公務員となった社会人)からの、青森で暮らし働く魅力や、青森県の可能性など、青森の未来に前向きになれるトーク。<25分×2名>

①青森県企画調整課 主査 笹森 えりこ

②青森県企画調整課 主査 福士 絃大

(3) グループワーク: 価値観カードゲーム

✓ ワーク①<30分> カードゲーム1回目

- ・手にしたカードを自身の価値観、大切にしたいものと照らし合わせ、ピンとこないカードを手放していくカードゲーム感覚のワーク。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、価値観を具体化してシートに記入。さらに、それを実現するのに適している場所を選択し記入。

✓ ワーク②<5分> 未来想像シートで未来の自分にタイムトリップ

- ・「未来想像シート」を使って「40代になった自分」を想像(長期的なライフプラン)

✓ ワーク③<20分> カードゲーム2回目

- ・「40代の自分が大切にしていると思うこと」でもう一度カードゲームを行う。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、価値観を具体化してシートに記入。さらに、それを実現するのに適している場所を選択し色付箋を貼り付け。

✓ **ワーク④<30分> 社会人との対話による「青森の価値」発見**

- ・各学生がワーク①とワーク③のシートを並べて、一人ずつ、結果（20代→40代の価値観変遷）を発表
- ・学生の発表を基に、ファシリテーターが学生の価値観を掘り下げるとともに、「青森の価値や魅力、可能性」などを引き出していく。
- ・ファシリテーターと学生が意見交換する形で進行

✓ **ワーク⑤<15分> 「私にとっての青森」を考え、共有**

- ・ゲストトークやグループワーク、意見交換などを通じて感じたことなどを踏まえ、ファシリテーター、学生がそれぞれの「私にとっての青森」を台紙に書き、発表。

私にとっての青森

ワークを踏まえ、「あなたにとっての青森」について考えてみましょう。
下記の空欄部分に、あなたなりの言葉を書き入れてみましょう。

私にとって、青森は

ところ

(例)・安心して暮らせるところ

- ・心がほっとするところ
- ・今は離れるが、いつかは帰るところ
- ・まだ見ぬ可能性が眠るところ
- ・もっと良くなってほしいところ

(3) 全体総括<10分>

- ◎主催者から全体総括（お礼、まとめ、学生へのメッセージ等）
- ◎アンケート記入、各種事務連絡等

6 その他<会場案内>



<ワークショップ会場>

**弘前大学創立 50 周年記念会館
岩木ホールA・B**